VTホールディングス株式会社

2010年3月期 第2四半期累計期間 決算説明資料

(名証２部, 大証HC:7593)

平成21年11月

VT HOLDINGS

この資料に記載されている業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実な要素がきまれているため、実際の業績が予想数値と異なる場合があることをご了承ください。

第2四半期累計期間　連結損益計算書　概要

（単位：百万円）	09/3期_1-2Q	10/3期_1-2Q	前年比	09/3期　通期実績
売上高	47,657	41,602	87.3%	93,430
売上総利益	9,129	8,655	94.8%	18,261
売上総利益率	19.2%	20.8%	+1.6%	19.5%
販売管理費	7,967	7,218	90.6%	15,868
販管費率	16.7%	17.4%	+0.7%	16.9%
営業利益	1,162	1,436	123.6%	2,393
営業利益率	2.4%	3.5%	+1.1%	2.5%
経常利益	978	1,253	128.1%	1,929
経常利益率	2.1%	3.0%	+0.9%	2.0%
四半期純利益	△70	564	―	△423
四半期純利益率	―	1.3%	―	―

『新車販売に左右されない企業体質』をテーマとした改善活動による利益率の向上と各種の利益確保策により、営業利益率+1.1%、経常利益率+0.9%の改善。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

連結業績

■今年8月頃からは回復基調となったものの、昨年末の景気の急減速から続いた新車販売台数の低迷により、第2四半期累計期間の売上高は、前年同期比減収となる。

■第2四半期累計期間としては、営業利益・経常利益・四半期純利益において過去最高益。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

営業増益の要因

(単位:百万円)	09/3期 1-2Q	10/3期 1-2Q	前年比
売上高	47,657	41,602	87.3%
売上原価	38,527	32,946	85.5%
売上総利益	9,129	8,655	94.8%
販売費	1,127	929	82.4%
人件費	4,265	4,012	94.1%
設備費	1,657	1,508	91.0%
管理費	916	768	83.8%
販管費計	7,967	7,218	90.6%
営業利益	1,162	1,436	123.6%
営業利益率	2.4%	3.5%	+1.1%
損益分岐点	40,736	33,866	83.1%
損益分岐点比率	85.4%	81.4%	△4.0%

売上高の減少分については、1台当り粗利の向上、サービス粗利の向上などにより、粗利率を改善することでカバー。
（粗利率　前年同期比 +1.6%）

人件費2億5千万円、販売費2億円、設備費・管理費をそれぞれ1億5千万円圧縮し、トータルで7億5千万円の経費削減。

固定費の圧縮

損益分岐点を改善、収益体質を強化

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

セグメント別［売上高・営業利益］

(単位:百万円)		09/3期 1-2Q	10/3期 1-2Q	前年比
売上高	自動車販売関連	46,366	39,610	85.4%
	環境	447	676	151.2%
	住宅関連	625	1,092	174.7%
	不動産賃貸	205	223	108.8%
	投資(コンサル)	13	-	-
	連結	47,657	41,602	87.3%
営業利益	自動車販売関連	1,188	1,300	108.4%
	環境	55	146	266.5%
	住宅関連	△24	△38	-
	不動産賃貸	110	112	101.8%
	投資(コンサル)	△18	△15	-
	連結	1,162	1,436	123.6%

自動車販売関連事業は、営業利益率を+0.4%改善し、売上高が減少する中で増益を確保。

環境関連事業は、イギリス向けの輸出が好調に推移し、売上高・営業利益が大幅増加、今後はその他のエリアにも販路を拡大する予定。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

自動車販売関連事業　部門別［売上高・粗利益］

（単位：百万円）		09/3期 1-2Q	10/3期 1-2Q	前年比
売上高	新車	22,899	19,269	84.1%
	中古車	11,752	8,584	73.0%
	サービス	10,621	10,447	98.4%
	レンタカー	1,091	1,308	119.9%
	合計	46,366	39,610	85.4%
粗利益	新車	2,827	2,223	78.6%
	中古車	1,725	1,556	90.2%
	サービス	3,670	3,726	101.5%
	レンタカー	529	664	125.5%
	合計	8,752	8,170	93.4%

サービス部門は売上高ほぼ横ばいながら、粗利益を改善、レンタカー部門の増益とともに全体の粗利率の改善に大きく寄与。

（粗利率 前年同期比 +1.7%）

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

新車・中古車部門　チャネル別 販売台数

（単位：台）		09/3期 1-2Q	10/3期 1-2Q	前年比
	ホンダ	2,376	2,367	99.6%
	日産	9,055	7,769	85.8%
	輸入車	267	123	46.1%
新車計		11,698	10,259	87.7%
	国内	15,294	12,346	80.7%
	海外	3,672	3,596	97.9%
中古車計		18,966	15,942	84.1%
合計		30,664	26,201	85.4%

リーマンショック以後の景気低迷により、4月～7月の新車販売台数は前年比大幅減となったが、政府の経済対策の効果もあり、8月からは回復基調が続いている。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

車種別［新車販売台数］

10/3期 1-2Q 実績

ホンダ車		（単位：台）
1	FIT	572
2	インサイト	556
3	フリード	374
4	ステップW	155
5	LIFE	154
6	オデッセイ	134
7	ZEST	125
8	ストリーム	109
9	バモス	40
10	エリシオン	38
11	その他	110
	合計	2,367

■は軽自動車

日産車		（単位：台）
1	セレナ	1,107
2	ノート	1,006
3	キューブ	933
4	モコ	913
5	ティーダ	619
6	エクストレイル	610
7	マーチ	492
8	クリッパー	288
9	オッティ	202
10	ピノ	162
11	その他	1,437
	合計	7,769

■は軽自動車

輸入車		（単位：台）
1	EleseS	48
2	ExigeS	19
3	EleseR	11
4	EleseSC	7
5	X	5
6	2-ELVEN	5
7	エクスプローラー	5
8	エスケープ	5
9	XF	4
10	フリーランダー	3
11	その他	11
	合計	123

■はLOTUS ■はFORD
■はJAGUAR & LANDROVER

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

連結キャッシュフロー

（単位：百万円）	09/3期 1-2Q	10/3期 1-2Q
営業活動によるキャッシュフロー	△2,264	5,349
投資活動によるキャッシュフロー	△1,044	1,965
財務活動によるキャッシュフロー	2,567	△2,441
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,559	6,771

■営業CF 税引前四半期純利益（+1,285百万円）、仕入債務の増加（+1,926百万円）、在庫・売掛金の圧縮（+908百万円）などを主要因として、営業CFは大幅プラス転換

■投資CF 有形固定資産の売却による収入（+2,464百万円）、貸付金の回収による収入（+279百万円）などを主要因として、プラス転換

■財務CF 短期借入金の減少（△1,260百万円）、長期借入金の減少（△728百万円）などにより、有利子負債が減少

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － ホンダカーズ東海

HONDA

<愛知県尾張、
岐阜県西濃>

・新車24拠点

・中古車3拠点

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

㈱ホンダカーズ東海　ホンダ車のトピックス

10年3月期

9月

「CR-V」のマイナーチェンジ

都会的で洗練されたスタイリングや軽快なハンドリング、優れた乗り心地で好評のSUV「CR-V」の内外装を変更するとともに、上級タイプにはHonda HDDインターナビシステムを標準装備するなど装備の充実を図りながら、お買い得感を高めた価格設定とし発売。

10月

「ステップワゴン」のフルモデルチェンジ

主力ミニバン「ステップワゴン」のフルモデルチェンジクラス最大の室内空間を確保し、クラス初の3列目床下格納シートにより、使い勝手を大幅に向上し、さらに、クラストップの燃費性能を実現。

2月

スポーツハイブリッド「CR－Z」登場予定

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － 長野日産自動車

NISSAN Red & Blue

<長野県全域>
・新車31拠点
・中古車8拠点

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － 静岡日産自動車

NISSAN Blue Stage

<静岡県中東部>
・新車28拠点
・中古車4拠点

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － 三河日産自動車

NISSAN
Red & Blue

<愛知県西三河>
・新車11拠点
・中古車2拠点

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

日産系販社　日産車のトピックス

10年3月期

5月　「NV200バネット」が新登場

新型のワンボックスミニバンとして、1600cc、3列シートの7人乗りワゴン車を発売。

7月　「スカイラインクロスオーバー」の登場

クーペとSUVを融合した新しいジャンルのデザインで、スカイラインのSUVモデルを発売。

10月　「フェアレディZロードスター」の登場

電動開閉式ソフトトップを採用した2シーターオープンモデルを発売。

11月　「フーガ」のフルモデルチェンジ

セダンの本質的な魅力である「走・美・快」の最高峰となる高級セダンとして「フーガ」がフルモデルチェンジ。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － フォードライフ中部

<愛知岐阜三重>
・新車3拠点
・その他9拠点

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － エルシーアイ

<全国>
・直営1拠点
・代理店28拠点

新型車「エヴォーラ」の発売遅延により計画未達。
来年1月より新型車のデリバリーが開始し、収益回復予定。
更に来期からは本格的に収益寄与。

EVORA

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － VTインターナショナル

JAGUAR

LAND ROVER

<大阪>

・新車1拠点

リストラにより、9月以降黒字化定着。

不採算であった愛知県岡崎の新車拠点を閉鎖し、今後は大阪店のみで営業。
来期は主力車種XJのフルモデルチェンジに期待。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － トラスト

TRUST
japanesevehicles.com

輸出業界全体は金融危機やロシア地域の大幅減少でダウンしたが、トラストの主要輸出先の落ち込みは軽微。

上期までの急激な円高で一時的に収益悪化したが、下期は価格転嫁が完了し、収益も回復基調。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － J-netレンタリース

直営店　22店舗
FC店　　49店舗、計71店舗で営業。

直営、FC両面で新規出店し、全国に店舗網を拡大中。

休日高速道路1,000円政策が、個人客のレンタカー需要を喚起

昨年度新規出店した店舗の売上が今期増収に寄与

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － アーキッシュギャラリー

デザイナーズハウスの草分け的存在。

認知度が高まり、受注棟数、竣工棟数共に堅調に推移していたが、昨年度のリーマンショックに伴う受注減が、今期収益に影響。
現時点では受注も回復し、来期からは収益回復。

■東京ギャラリーOPEN
東京都港区元麻布3-4-29
トゥールブランシュ麻布

東京都元麻布に東京ギャラリーを開設し、東・名・阪の販売網を確立。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

主な子会社の業容 － E－FOUR

2004年11月から省電力装置の製造販売を開始。

06年12月 ｲｷﾞﾘｽ独占販売代理店契約締結。
07年3月 東南ｱｼﾞｱ販売代理店契約締結。
08年2月 ﾌﾞﾗｼﾞﾙ独占製造販売総代理店契約締結。
08年9月 ｱﾌﾘｶ南部独占販売代理店契約締結。
09年9月 ﾌｨﾘﾋﾟﾝ販売代理店契約締結。
09年9月 ﾀｲ王国販売代理店契約締結。
09年10月 ｵｰｽﾄﾗﾘｱ独占販売代理店契約締結。
09年11月 ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ・ﾏﾚｰｼｱ販売代理店契約締結。

地球温暖化対策への世界的な関心の高まりなどに伴い、省電力装置「E-FOUR」による
電気料金の削減効果、さらには消費電力抑制に伴う二酸化炭素排出量抑制効果が期待され、
世界各国から多数の問合せがあり販売代理店網を構築中

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

2010年3月期　通期業績予想　概要

（単位：百万円）	09/3期	10/3期 計画	前年比
売上高	93,430	90,000	96.3%
売上総利益	18,261	18,219	99.8%
売上総利益率	19.5%	20.2%	+0.7%
販売管理費	15,868	15,218	95.9%
販管費率	16.9%	16.9%	—
営業利益	2,393	3,000	125.4%
営業利益率	2.5%	3.3%	+0.8%
経常利益	1,929	2,500	129.6%
経常利益率	2.0%	2.8%	+0.8%
四半期純利益	△423	1,100	—
四半期純利益率	—	1.2%	—

従来からの利益確保の取組みや大胆な経費削減の効果によって、利益率の改善が進んでいるほか、エコカー減税や補助金などにより、新車販売環境が回復基調にあることから、上期実績を考慮し、業績予想を修正いたしました。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

2010年3月期　通期業績予想

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

セグメント別　通期計画［売上高・営業利益］

（単位：百万円）		09/3期 通期	10/3期 通期計画	前年比
売上高	自動車販売関連	88,853	85,255	96.0%
	環境	1,129	1,322	117.1%
	住宅関連	2,954	3,032	102.6%
	不動産賃貸	456	390	85.5%
	投資（コンサル）	36	-	-
	連結	93,430	90,000	96.3%
営業利益	自動車販売関連	2,243	2,904	129.5%
	環境	200	289	144.5%
	住宅関連	93	12	12.9%
	不動産賃貸	253	174	68.8%
	投資（コンサル）	△17	-	-
	連結	2,393	3,000	125.4%

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

自動車販売関連事業　通期計画の詳細

■自動車販売関連事業 部門別 売上高・粗利益

（単位：百万円）		09/3期	10/3期 計画	前年比
売上高	新車	42,005	42,154	100.4%
	中古車	22,833	18,187	79.7%
	サービス	21,691	22,247	102.6%
	レンタカー	2,323	2,664	114.7%
	合計	88,853	85,255	96.0%
粗利益	新車	5,362	4,857	90.6%
	中古車	3,323	3,226	97.1%
	サービス	7,467	7,812	104.6%
	レンタカー	1,101	1,297	117.8%
	合計	17,256	17,194	99.6%

■新車・中古車部門 チャネル別 販売台数

（単位：台）		09/3期	10/3期 計画	前年比
新車	ホンダ	4,623	4,941	106.9%
	日産	16,623	17,341	104.3%
	輸入車	412	323	78.4%
	合計	21,658	22,605	104.4%
中古車	国内	30,057	26,528	88.3%
	海外	7,162	7,498	104.7%
	合計	37,219	34,026	91.4%
合計		58,877	56,631	96.2%

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

今期経営重点課題 ［BSリストラ］

資産圧縮によるBSスリム化

（有利子負債－現預金）を2年以内に100億円削減を目指す

・資産売却と棚卸資産、売掛金等の回転率アップ

※09年10月末現在の【有利子負債-現預金】は、285億円。

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

今期経営重点課題［自己資本比率の改善］

自己資本比率の改善

3年以内に自己資本比率20%を目指す

・収益による自己資本の積み上げに加え、資本注入も検討中

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

今後の成長戦略

2008/3期 | 2009/3期 | 2010/3期 | 2011/3期 | 2012/3期 | ・・・

自動車販売需要の低下

市場の成熟やライフスタイルの変化に伴う買い替えサイクルの長期化に対する当社の対応

●非新車部門の収益向上=車検単価の上昇などメンテナンス収入の増加
●新車部門の台当り利益の改善

●損益分岐点の大幅改善
自動車需要の頭打ちを前提とした収益構造の構築

●店舗統廃合
新車需要減に対応し、マーケットにあわせた店舗網の整理

双日アライアンス ※詳細別紙

●BSリストラの実施
財務体質の増強を推進

環境関連事業の収益増加

M&A

●事業の選択と集中
本業の自動車販売関連事業に加え、成長著しい環境関連事業にも注力

●自動車ディーラー黒字化の実績
一定のマーケットを確保できれば、確実に収益化できるビジネスモデルを確立

●M&A戦略を検討
BSリストラ完了後、投資効率を重視し、買収価額が純資産相当額以下におさまる(負ののれんが発生する)自動車ディーラーのM&Aを検討する
＝買収により純資産の増強にもつながるM&A

エコカー補助金
需要を喚起した補助金が継続か？

エコカー減税
自動車取得税・重量税の減免措置がエコカー販売を後押し

暫定税率の廃止
取得税、重量税減税→大型車含めた全車種にわたる減税効果
ガソリン税、軽油引取り税減税→燃料安による需要喚起、ロングドライブ増加に伴うメンテナンス収益向上に期待

高速道路1000円
ロングドライブ需要やレンタカー需要を喚起

VT HOLDINGS

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.

双日アライアンス

「双日株式会社との業務提携に関するお知らせ」(平成21年11月24日公表)のとおり、平成21年12月1日付けで総合商社の双日株式会社と自動車ビジネスに関する業務提携契約を締結する予定です。

インド、中国、その他東南アジア地域等における合弁形態による自動車ディーラービジネスへの参画

双日が展開している海外の自動車ビジネスに対する事業協力

双日のもつ国内外のビジネスネットワークを活用し、共同で事業展開を検討

日本における新たな輸入車インポーター権の獲得

国内外における中古車販売ならびにレンタカー等に係る業務提携

当社グループは成長性の高い海外市場における自動車販売関連事業の具体的展開の可能性について検証を行うため、平成20年からタイ、インド、韓国等の地域における自動車ディーラーに対し経営コンサルティングを行ってまいりましたが、当社グループの経営ノウハウが海外においても有効であり、経営改善が充分に可能であることが確認できております。

具体的内容については両社の間で協議を進めており、明らかになり次第、順次お知らせします。

VT HOLDINGS

©2009VT HOLDINGS CO.,LTD. All rights reserved.